

Surgeons

びっくりーむ！

パーマじゃないパーマ、クリームS.から始まる。

今まで知らなかったことやモノに、
初めて出会った時の
嬉しさ、不思議さ、楽しさ。そんな感動を、
パーマを通してたくさんの人たちに
味わってもらいたくて。
ルベルコスメティックスは、
これまでのパーマの概念を打ち破る
ニュープロダクト、「クリームS.」を開発しました。
ニュアンスウェーブから
アグレッシブなデザインカールまで、
ヘアデザインに
新しい可能性を与えてくれる“クリーム”。
パーマ時間を従来の
約半分にまで短縮した“クリーム”。
自宅でのセルフケアを簡単にする“クリーム”。
パーマしながら
ヘアケアしてくれる“クリーム”。
他のクリームパーマ剤とは
ちょっとちがう、新鮮な驚きが
いっぱいつまつた“クリーム”。
それが、パーマの
ニュースタンダード、「クリームS.」です。

Lebel Cosmetics

EXCLUSIVE
SALON PRODUCTS



「もっと楽しいパーマ」をプレゼンテーションできる、クリームS.の“3つのS”。

「表現力」「短時間プロセス」「再現性」—— カラリストの技術を最大限に生かすために考えられた、クリームS.の3大特長。それはイコール、お客様にとってのベネフィットである“3つのS”(Stylish、Speedy、Self care)を意味します。これまでのどのパーマ剤にもなかった新しいコンセプトは、パーマに快適さ、気軽さ、楽しさという新しい魅力を吹き込み、パーマの価値を変えていきます。

・スタイルリストベネフィット

表現力

ニュアンスウェーブからアグレッシブなパーマスタイルまで。クリームS.ならスタイルリストの感性を生かす、自在な表現が可能です。

①クリーム性状だから、欲しい所にだけ“つながり”的な波形を実現。

②クリーム性状だから、ボリュームダウン、ボリュームアップのコントロールが自在。

短時間プロセス

独自のR.O.S.P.システムによってハーフタイムプロセスを実現。スタイルリストの作業効率を大幅にアップさせるとともに、お客様の時間負担も少なくなりました。

① R.O.S.P.システムだから、還元させながら酸化が進行。これまでの約1/2の時間で完了。

②サーマルマルチティング機能だから、クリームがリキッド状に変化し、スピーディーに浸透。作業効率がアップします。

再現性

トリートメント力のあるクリーム剤だから髪をケアしながら質感まで変え、再現性に優れた扱いやすいスタイルを実現。

①R.O.S.P.システムだから、薬剤放置時間は1剤・2剤あわせて従来の約1/2。髪への負担を軽減します。

②クリーム性状だから、トリートメント効果が長時間持続。潤い成分(アセチルシスチン・ヘアリピッド・ペプチドコラーゲン)・艶やか成分(パールプロテイン)配合。※パールプロテインは2剤に配合されています。

Cream S.



ルベルコスメティックス フォーミュラ ROSP/CN(ノーマルタイプ)
ルベルコスメティックス フォーミュラ ROSP/CH(ハードタイプ)
加温二浴式用〈医薬部外品〉
○第1剤 240g/1人1回使用量80g(チオグリコール酸塩)
○第2剤 300ml/1人1回使用量100ml(過酸化水素水)

エンドユーザーベネフィット

③ サーマルメルティング機能
だから、リキッドパーマ剤で
つくるカール表現も可能。

- 「こうなりたい」と思っていた髪型になれる!
- 自分に似合う新しいスタイルを実現!

③ クリーム性状だから、質感調整とカールが1度でできます。
簡単・快適プロセスを実現。

④ 短時間プロセスに加え、マリンフローラルのフレッシュな香りで“パーマ臭さ”から開放。

③ クリーム性状だから、硬い髪、軟らかい髪をしなやかで動きのある髪に。毎日の手入れを簡単にします。

- もう、1日がかりのパーマはさよなら!
- これからは気軽にパーマがかけられるから、いろんなスタイルにチャレンジできる!

S elf care

- 髪が扱いやすくなって毎日のお手入れがラク!
- サロンで仕上げたスタイルを、自分で簡単に再現できる!

欲しいところに、思いどおりの表現を。
サーマルマルティングクリームだからできること。

シャギーへアにも均一な動きと表情を与えられる。

従来のリキッドパーマ



毛先の不揃いな髪は液体ではまとまりづらく、巻くとハネ毛が出てしまいがち。仕上がりもまとまりのないスタイルに。

クリームS.



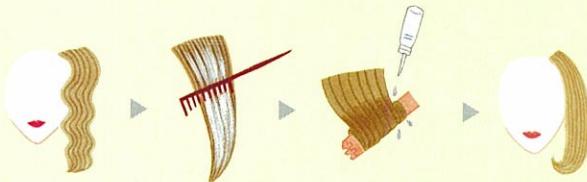
毛先の不揃いな髪でもクリームなら無理なくひとつの束にまとめられ、ワインディングもしやすい。

毛先に均一な動きとナチュラルな方向性が出来る。

フェイスラインや
ネックラインの
ピンカールにも最適!

ウェーブヘアから「ストレート&毛先カール」へのチェンジが一度にできる。

従来のリキッドパーマ



一度全体をストレートにしてから…

再度毛先だけにカールパーマ。

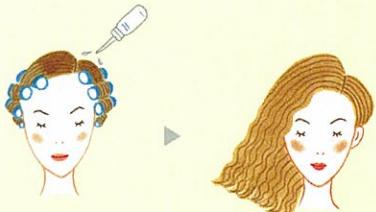
クリームS.



クリームなら全頭にまんべんなく塗布でき、根元から中間部にはストレート表現を、毛先はカールを行なうことができる。

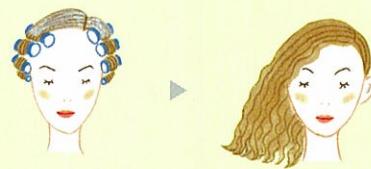
ウェーブヘアの広がる根元のボリュームダウンを実現。

従来のリキッドパーマでの調節



液がたれ落ちてしまうため根元が抑えられにくい。

クリームS.



クリームなら根元に多く塗布することで気になる根元のボリュームも抑えることができる。



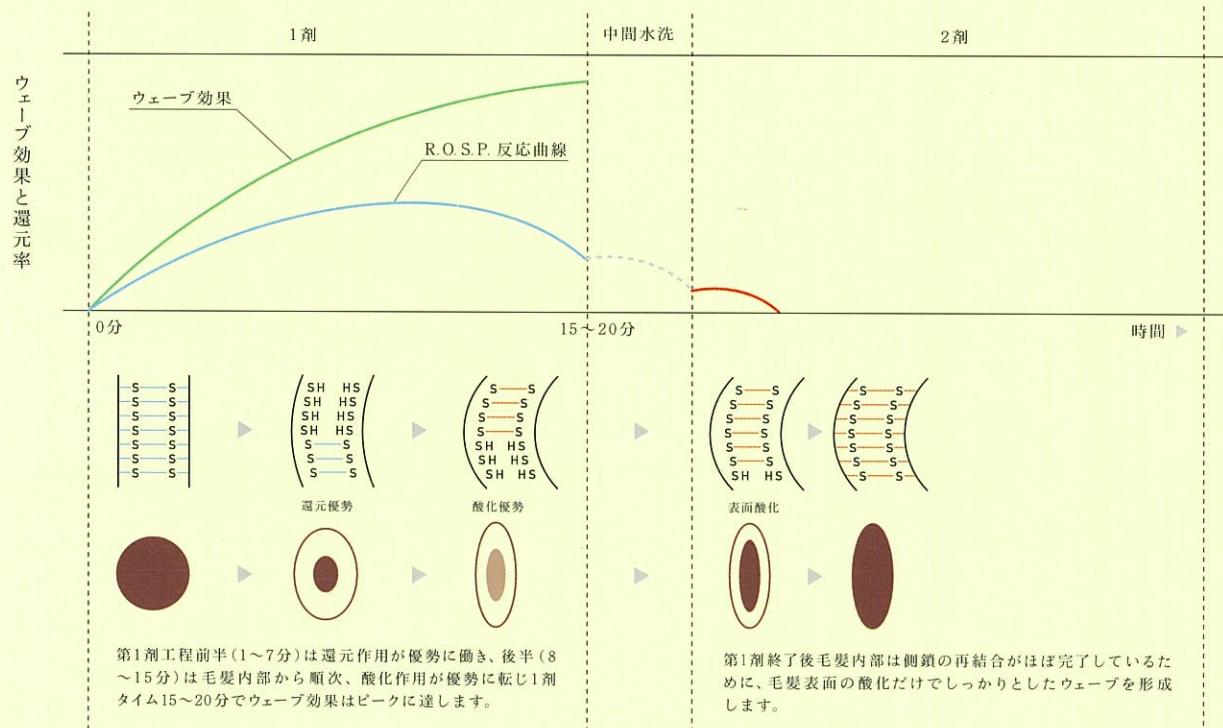
“3つのS”を実現する、レベルコスマティックスだけの新システム。

還元酸化同時進行システム

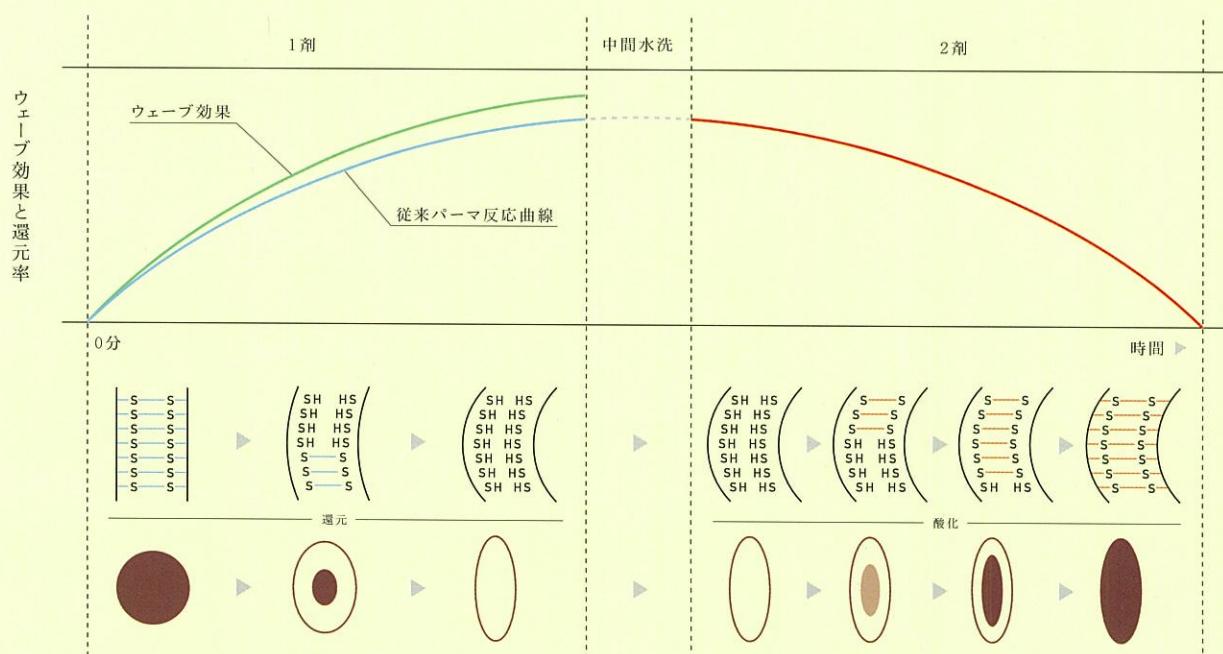
R.O.S.P.

R.O.S.P. (Reduction Oxidation Simultaneous Progress) パーマシステムは、第1剤工程中で、還元作用と酸化作用をほぼ同時に進行させる、全く新しいパーマ方式です。この働きによって2剤タイムが大幅に短縮され、それと共に毛髪へのダメージを最少限に抑えることが可能になりました。また効率的還元作用により高いレベルでのウェーブ効果も得られます。

R.O.S.P. パーマ



従来パーマ



温熱栄養補給システム

サーマルメルティング

塗布時はクリーム状で、たれ落ちることなく毛髪にしっかりと栄養素を補給。その後約40°Cでリキッド状に変化し、均一で美しいウェーブ形成を行います。クリームの特性(トリートメント効果、ボリューム調整)と、リキッドの効果(ウェーブ力、使いやすさ)を兼ね備えたシステムです。

クリーム状



サーマルメルティング ▶

リキッド状



クリーム状なのでタレ落ちせず効率的に全量髪に作用します。またトリートメント成分をたっぷりと配合しているため、クリニック性にも優れています。

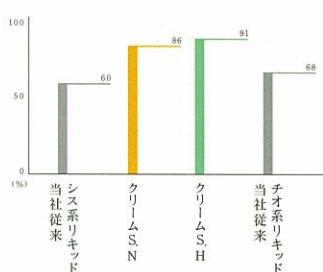
リキッド状になるのでトリートメント成分を効率よく深部まで浸透させ、ソフトな作用で求めるスタイルができます。

天然成分配合

- アセチルシスティン——毛髪の弾力性に重要な役割をもつシスティンに、保湿効果を高めるアセチル基を付加したアミノ酸です。しなやかでハリ、コシのある髪に仕上げます。
- ヘアリピッド——毛髪中に必要なアミノ酸と水分をしっかりとキープする働きをするので、つややかな仕上がりを長時間持続させます。
- ペプチドコラーゲン——特に保湿効果が高いとされているコラーゲンで、髪をしっとりみずみずしくします。
- パールプロテイン——分子量の小さいアミノ酸が密になった構造でキューティクルを均一にコートするので、髪に持続性のある艶を与えます。(第2剤に配合)

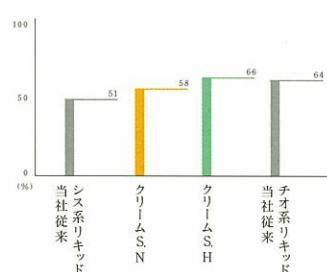
DATA

ウェーブ保持効果



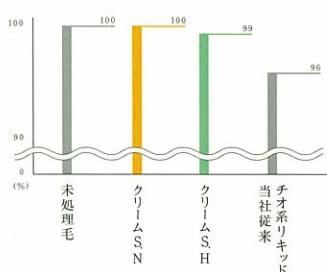
施術から1カ月後のウェーブ残存率を表しています。R.O.S.P.システムの確実な作用効果と髪を保護するトリートメント効果で、持ちの良いウェーブを形成しています。

ウェーブ効率



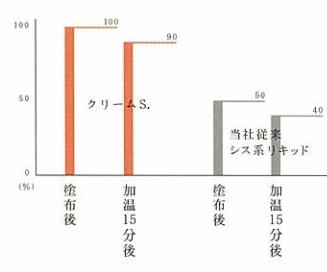
低ダメージ性をベースにしながら、ウェーブ力はチャオ系リキッド並みのパワーを備えています。

トリートメント効果



毛髪の破断強度を比較したグラフです。クリームS.Nならパーマをかける前とほぼ同じ髪の状態をキープしており、高いトリートメント性を維持しています。

ノンドリップ性



1剤を塗布した時と加温15分後の薬剤の吸着性を表しています。クリームS.Nはリキッドに比べ、たれ落ちもなくほぼ全量が毛髪に作用。パフォーマンスの高さを達成しています。

「サーマルメルティング」+「R.O.S.P.システム」だからできる、クリームS.の革新プロセス。

サーマルメルティング

塗布時はクリーム状で加温することにより、リキッド状に変化。思いのままのウェーブが表現できるから、クリエイティビティを存分に発揮できます。



クリームS.

1
剤
塗
布

デ
ザ
イ
ニ
ン
グ

プロ
セ
ス
タ
イ
ム

移動

クリームS.デザイン
リピッド80g(基本
使用量)を塗布し
ます。

仕上がりスタイルをイメージ
しながらデザイン。

キャップ、またはラップを使用し、
加温(43°C)にて10~20分放置
します。



0分



15分



30分

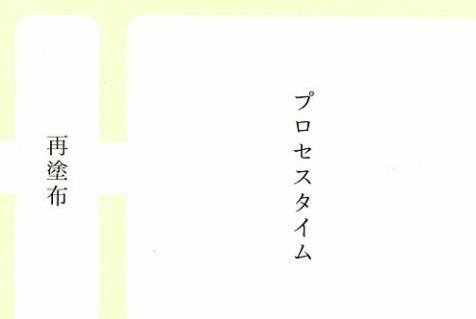
従来パーマ

1
剤
塗
布

デ
ザ
イ
ニ
ン
グ

再
塗
布

プロ
セ
ス
タ
イ
ム



プロセスの簡素化

中間水洗、2剤塗布、アフターリンスまでの工程がシャンプーブースで一度に終了。お客様には快適性を、サロンには効率化をもたらします。



中間水洗

2剤塗布

ロッドアウト・プレーンリス

アフターリンス

ウェーブチェック後シャンプー台へ移動し、中間水洗。その後フィクサー100ml(基本使用量)を塗布し、1~2分放置後ロッドアウト。プレーンリスして仕上げます。

移動
仕上げ

お客様にも、サロンにも、有意義な時間が生まれます！

自分の髪質にあった
ヘアケア剤のチョイス

お客様との
スタイルコミュニケーション

早く帰って
自由な時間ができる。

パーマ受付時間延長

次のお客様への対応

酸性カラーとの同時施術



45分



60分



75分

移動

中間水洗

移動

2剤塗布
プロセスタイム

移動

再塗布
プロセスタイム

ロッドアウト
プレーンリス

アフターリンス

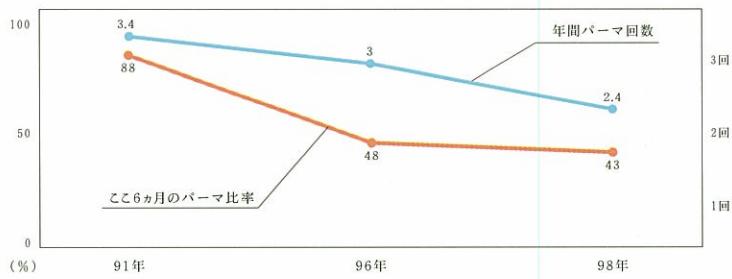
仕上げ

クリームS. それはパーマへの不満を解消した新発想パーマ剤。

自社調査の結果データから、この数年低下していたパーマニーズが今年になって盛りかえしを見せてきたことや、どんな要望に応えればパーマニーズがより増加するのかなどが、あきらかになってきました。スタイリッシュ、スピーディ、セルフケア、3つのSは、これらのお客様のニーズを高いレベルで充たしたコンセプトです。

パーマ利用頻度の推移

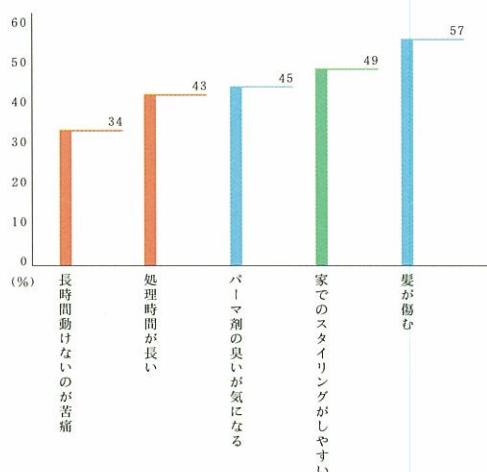
91年以降年々利用率が減少し、またパーマをかけてから次にかけるまでのサイクルが長期化していました。



パーマに対するユーザー意識

「スタイリングしやすい」という好評価から、パーマへのニーズが感じられるものの、「時間」に対する不満が実際の行動を阻んでいる様子がうかがえます。

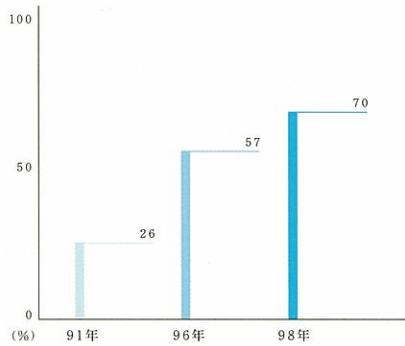
パーマからイメージするもの・・・



パーマ利用意向の変化

ノンパーマユーザーの「次回はパーマをかけたい」という意向が、今年に入って70%にまで増加！
パーマニーズは確実に高まってきています。

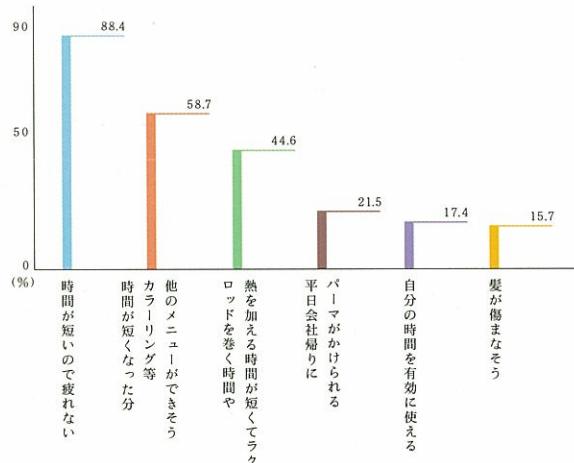
次はパーマをかけてみたい・・・
(ノンパーマユーザー回答)



“パーマ時間の短縮化”に対するユーザー意識

「時間がかかるないパーマ」が実現すると、お客様のパーマに対する意識が変わり、パーマニーズの大幅な増加が予想されます。(さらに内容を追求した調査では、特に「時間が短くなつてほしい施術過程」は2剤の放置タイムであることがわかりました。2剤タイムを画期的に短縮したクリームS.なら、お客様の要望に的確に応えられます。)

パーマの施術時間が短くなると・・・





ご注意

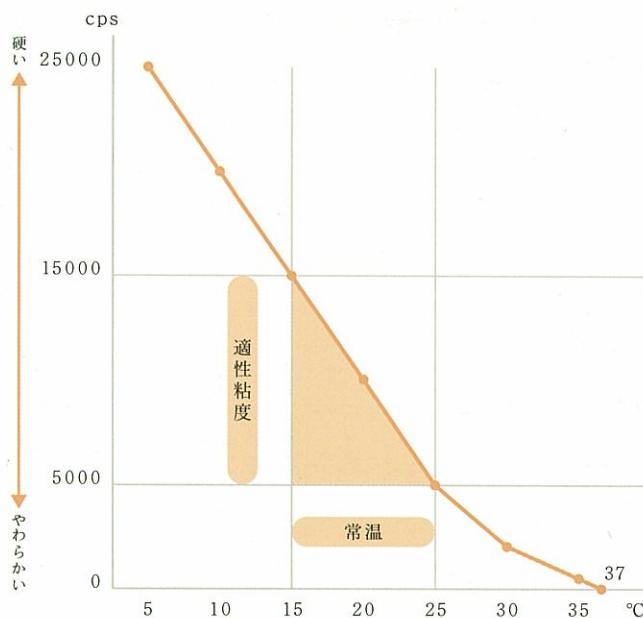
「クリームS.」はクリーム状から約40°Cでリキッド状(液状)に変化する「サーマルマルチング機能」をもたせるために特殊なエマルジョンを採用しています。適正温度以上で保管されていたものは粘性が低く(やわらかく)なっていたり、また低温で1ヶ月以上保管した場合も、常温に戻した時の粘性が低くなる傾向にあります。

ご使用にあたっては、下記の注意事項を必ずお守りください。

- ①開栓時液化しているものは必ず、常温(15~25°C)に戻し、中身がクリーム状になったことを確かめてからお使いください。開栓時に強くにぎると飛び出すおそれがありますので、ご注意ください。
- ②低温で長時間保管され粘性が戻らなくなったり、また低温で1ヶ月以上保管した場合は、お湯(約40°C)につけるなどして一度温めた後、常温に戻すと粘性が回復します。
- ③チューブに常温であることを示す「温度シール」が貼ってあります。シールのラベルの色が青色に変色してから約1時間ほど放置した後にお使いください。(「温度シール」は常温以下を示す目安であり、正確に中身の液温を示すものではありません。)



液温と粘度の変化



測定条件 —— B型粘度計(3号・12 rpm・2分)

使用上のご注意

使用前の注意事項

1. ご使用方法を誤りますと毛髪を傷めたり、効能・効果にも悪影響を与えます。また、皮膚障害やその他思ひぬ事故を起こすこともありますので、使用法・使用量を必ずお守りください。できれば、あらかじめ毛髪の一部で試験的に本品を使用してみてください。
2. 次に該当する方は、皮膚や身体が敏感な状態になっています。パーマ剤が皮膚や傷口に付着した場合激しい皮膚障害等を起こしたり、症状が悪化することがありますので、ご使用にならないでください。
 - ①頭皮、顔、首筋、手等にはれもの、傷、皮膚病のある方。
 - ②生理中、生理日の前後及び産前産後の方。
 - ③病中、病後の回復期にある方、その他身体に異常が認められる方。
 - ④脱毛症にかかるおられる方。
 - ⑤特異体质の方または過去にパーマ剤でかぶれ等のアレルギー症状を起こしたことがある方。
3. 次に該当する方に対しては、毛髪や皮膚を傷めますのでご使用にならないでください。
 - ①毛髪が著しく傷んでいる方。
 - ②染毛(酸性染毛料を除く)してから一週間以内の方。
 - ③前回のパーマ施術から一週間以内の方。
4. 頭髪以外には使用しないでください。眉毛、まつ毛等に使用するとパーマ剤が目に入るおそれがあり、大変危険です。
5. メガネ、ヘアピン、ピアス等の金属加工品は、パーマ剤が付着すると変色や変形がありますので、使用前に必ず取りはずしていただくようにしてください。

使用中の注意事項

1. パーマ剤やすすぎ液がお客様の耳や、特に目には絶対に入らないようにしてください。もし、目にに入った場合は、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い流し、ただちに専門医の診療を受けていただくようにしてください。耳に入った場合は、綿棒等で取り除いてください。もし異常を生じた場合は専門医の診察を受けていただくようにしてください。そのまま放置しますと目や耳に障害を生じるおそれがあります。またご自身の判断で目薬等を使用しないでください。
2. パーマ剤が皮膚につきますと、かぶれなどの皮膚障害を起こすことがありますので、お客様の顔、首筋等にパーマ剤がつかないように注意し、タオルターバン、保護クリーム等で保護してください。もし、ついた場合は、すぐに水で洗い落とし、ぬれたタオル等でふき取ってください。このとき、こすらずに軽くたたくようにしてください。
3. 第1剤の加温温度と作用時間にじゅうぶん注意をし、用法および用量に従って正しく施術を行ってください。
4. 第2剤の操作時間には十分に気をつけてください。操作時間を長く取りすぎると、毛髪を傷めたり、褪色を起こすおそれがあります。
5. 第1剤操作終了後は、水またはぬるま湯で必ず中間水洗を行い、第1剤をよく洗い流すようにしてください。第1剤を洗い流さずにそのまま第2剤操作に移りますと、毛髪を傷めたり、第2剤の作用を妨げられる原因となります。また、第2剤操作終了後も十分に水洗を行って、第2剤を洗い流すようにしてください。水洗が不十分な場合は、毛髪を傷めたり、効能・効果に影響を及ぼすことがあります。
6. 操作中や操作後には、手指の保護のために、手についたパーマ剤をよく洗い流すようにしてください。また、かぶれ、手荒れ等のある場合は、パーマ剤と直接接触しないようにしてください。必要に応じて、適当な手袋を着用してください。
7. パーマ剤を衣服等につけないようにしてください。シミになったり変色することがあります。もし、ついた場合は、すぐにその部分をぬるま湯または水等で十分に洗い落すようにしてください。

その他のご注意

1. 操作中または操作後にお客様の頭皮、顔、首筋、手等に発疹、発赤、かぶれ、刺激等の異常を生じた場合には、ただちに皮膚科専門医の診察を受けていただくようにしてください。かぶれた部分を手等でこすらないようにしてください。操作中にこのような症状が現れた場合には、すぐに操作を止めて、パーマ剤を十分洗い流してください。なお、第1剤操作の途中で異常が生じた場合には、ただちに水またはぬるま湯で第1剤を洗い流した後、第2剤を異常が生じた部分につかないように注意しながら毛髪に塗布し、数分間放置後、よく洗い流すようにしてください。その後、皮膚科専門医の診察を受けていただくようにしてください。
2. パーマ施術の前後一週間は染毛(酸性染毛料を除く)しないでください。毛髪を著しく傷めたり、効能・効果に影響を及ぼすことがあります。
3. 万一、変色や変質など製品に異常を感じられた場合は、ご使用にならないでください。

保管および取扱い上のご注意

1. 幼児の手の届かない所に保管してください。
2. 本品は密栓して、高温の場所を避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。保管中に変色や沈殿等の異常が認められたものはご使用にならないでください。
3. 一度開封したパーマ剤は空気に触れて効果がさがりますので、早めに使いきってください。またアブリケーター等には用時必要量をとり、使い残りをもとの容器に戻さないでください。
4. 万が一、パーマ剤を誤って飲んだ場合には、ただちに医師の診察と適切な処置を受けていただくようにしてください。
5. 第1剤と第2剤を混合しないでください。発熱して危険です。
6. 臭素酸塩第2剤と過酸化水素水第2剤を混合しないでください。有害な臭素ガスを発生して危険です。
7. 粉末状の第2剤を第1剤と接触しないように、特に注意して保管してください。発火の危険があります。

Lebel Cosmetics

EXCLUSIVE
SALON PRODUCTS

ルベルコスメティックス タカラベルモント株式会社/ベルモント化粧品株式会社 <http://www.takarabelmont.co.jp>

東京/〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-56-4 TEL(03)3374-1541(代表) 大阪/〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1 TEL(06)6212-3614(代表)